

～ 会派の活動を報告します ～

真政会

10月13日・14日に長崎県の出島メッセ長崎で開催された第84回全国都市問題会議に参加した。この会議は、全国市長会他3団体の主催で行われ、全国から2,000名を超える参加があった。

会議のテーマは、「個性を生かして選ばれるまちづくり～何度も選ばれたい場所になるために～」で、基調講演、主報告、一般報告、パネルディスカッション、行政視察などが行われた。

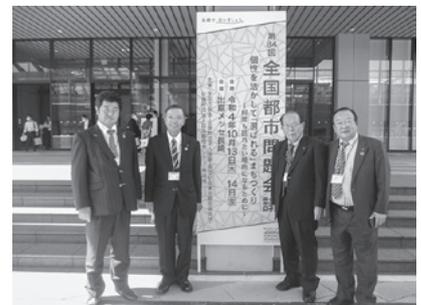
開会式後の基調講演は、株式会社ジャパネットホールディングス代表取締役の高田旭人氏

で、テーマは、「民間主導の地域創生の重要性」、父親から受け継いだ会社の紹介、「見つける、磨く、伝える」という通信販売の方針や今後の戦略について話を聞くことができた。また、長崎のプロサッカークラブ、V・ファーレン長崎の運営を始めたことをきっかけに、2024年開業を目指した「長崎スタジアムシティプロジェクト」を進めており、官民、そしてそこに住む地域住民が連携して幸福の総量を増やしていきたいと語っていた。

次に、田上富久長崎市長の主報告があった。長崎市は広島市とともに世界に2つしかない戦争被爆地として、核兵器廃絶と世界恒久平和を訴える国際平和

文化都市としての役割を果たしている。これからは官民一体となり、長崎の価値を磨き、まちで暮らす人にも、まちを訪れる人にも魅力的なまちにしていきたいと語っていた。

その後、山形市長等の一般報告があった。この会議を通して、地域の魅力的な資源を見つけ、磨き上げ、全国に伝えていくことの重要性を学ぶことができた。



市民ベースの会

当会派は、「古河市のまちづくり」に関する市民アンケートにおいて、各交流拠点の整備への期待で最もポイントが高かった「映画館やショッピングモール等の商業施設の形成」を一步でも前進させるために、先進地である宇都宮市を訪問し、宇都宮駅東口地区整備事業を視察してまいりました。

当該事業は宇都宮市と企業グループが連携して推進されており、住友商事が開発の担当を行っています。

「楽しく、快適で、何度でも来たくなる居心地の良い空間の

創出」を目標として「地球メイド型複合開発」を大切にしているとのことです。



宇都宮駅東口の商業施設を視察

古河市においては古河駅東部土地区画整理事業で大街区を商業的に活用するため、事業者を公募し、令和4年11月に優先交渉権者が決定いたしました。

予定通り順調に進めば、本年4月に契約が取り交わされ、令

和6年7月に開業の運びとなるとのことです。

市民の期待度が最も高い事業の成功を祈っております。

また、当会派は令和4年12月定例会において、6名全員が一般質問を行いました。我々市民ベースの会は、市民の皆さまの最も身近で頼りになる会派となるようにこれからも努力をし続ける所存です。何かありましたら、お気軽にお声掛けください。

